

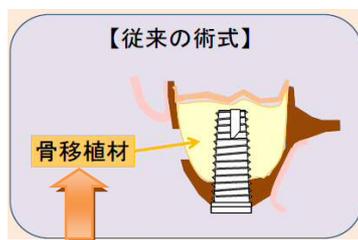
シーズ名	TCP を使用した上顎洞底挙上術	分類：9
所属 / 職 / 氏名	補綴・インプラント学講座 / 講師 / 鬼原英道	
キーワード	インプラント、人工骨、低侵襲、リン酸カルシウム、再生医療	

どんな技術？

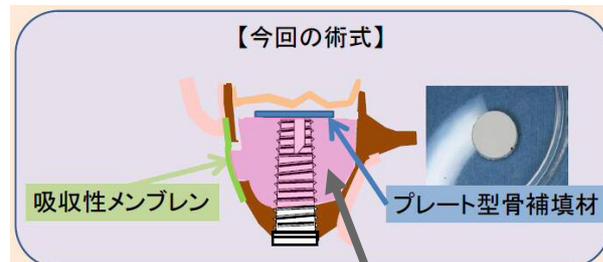
一言アピール

**リン酸三カルシウム（人工骨）を利用した
低侵襲口腔インプラント治療術の開発**

近年インプラント治療は歯科医療の歯を抜いた後の治療法として必要不可欠なものになっている。しかしながら、様々な理由により上顎骨および下顎骨の委縮が極度に進行するとインプラント治療が困難になる。上顎には上顎洞という副鼻腔が存在し、その体積によって上顎洞底挙上術などの骨造成術が必要になる。従来、上顎洞底挙上術は上顎洞前壁を開窓し、洞底粘膜を挙上し、スペースを確保した後に骨移植材を填塞して上顎洞底部の骨量を増大させていた。この時に使用される骨移植材としては、古くは腰骨にあたる腸骨、近年では下顎骨が使用されてきていた。いずれにしても他部位からの骨移植は患者に対して非常に大きな侵襲を伴うことになる。現在我々は新たに開発したプレート型β型リン酸三カルシウム系骨補填材料(以下β-TCPプレート)使用して行う低侵襲な上顎洞底挙上術の臨床研究を行っている。



他部位から骨を採取して移植



隙間には骨を移植せず、血液で満たす

今回の技術が確立されることによって、これまで非常に高侵襲であった、上顎の骨吸収症例のインプラント治療が低価格、低侵襲で行うことができる。



何に使えるの？

①低侵襲、低価格な口腔インプラント治療の確立. ②リン酸三カルシウムの生体内親和性の確認. ③長期予後が認められる口腔インプラント治療の確立

関連特許

関連資料等